

ポジションペーパー
for
FLOSS-WG

2009/06/18

橋本明彦

自己紹介

- みずほ情報総研株式会社勤務しています。
 - 1982年に就職して以来、自分からは動いていないのに会社が2回合併して3つ目の社名で、さらに2005年4月から2007年9月にかけて、IPA OSSセンターに出向していました。
- 広島の人にOSSのERPを作ってもらったり、
- 3年度にわたって自治体へのOSS導入実証をやったりしました。
- 出向からもどってからも、IPAからWebサイト構築や調査の業務を受注して、若干OSSに絡んでいます。
- みずほやその他のお客様でも、LAMPで組んだりすることが普通です。

最近の想い/憤り

- 第2回OSSビジネス活用調査で札幌にヒアリングに来たときに、ローカルマーケットは無い、ということを知りました。
- 福岡には地場でITやっている人がかなり居るようですが、Webデザイナーとかでは家族を養うほどには儲からない、ということを知りました。
- 最近東京から出身地に戻った人に、地元でITを看板にすると、とたんに東京中心で流れている仕事の階層構造に飲み込まれてしまうので、やめた、と知りました。
- 自治体にOSSが入っていけば、地元でOSSを手がかりにITで事業を営むことが出来るのでは?という仮説を全国に振り撒いた道義的責任があるのでは

...と感じています。

討論したい内容

- ITに絡んだ経済的な統計、ましてや、OSSの場合、となると、各企業の本業に陰に隠れて、リアルな数字が見えてきていないのではないか、
- なので、どれくらいのマーケットや雇用吸収力があるのか、本当はわかっていないのではないか、
- という疑問をもとに、
 - 本当にOSSを学べば起業や雇用のチャンスが増すのだろうか。
 - 前記の調査でも、成長することになっているけれども、本当の成長力の素が、OSSなのか、
- 実はどうなのだろう、みなさんから事例や視点の示唆をいただけたらと思います。

WS への貢献と期待

- 高松に続けて2回目です。もっと多様な方々が参加してくださるといいと思うのですが。横浜ではどうなるのでしょうかね。

参考文献

- 第2回オープンソースソフトウェア活用ビジネス実態調査(2008年度調査)
- <http://ossipedia.ipa.go.jp/doc/186/>